



A DOW and TORAY Joint Venture

テクニカルデータシート

DOWSIL™ SE 1720 CV Adhesive

DOWSIL™ SE 1720 CV 2液、1:1 混合、白色、低分子シロキサン低減品

特徴と長所

- 流動性
- 1:1 混合
- 加熱硬化
- 比較的低温で良好な硬化性
- 混合後の十分な作業時間
- 低分子シロキサン低減品
- 無溶剤
- 温度調節による速硬化・様々な硬化プロセスの利用が可能
- 塗布後、流動性があり、充填やセルフレベリングが可能
- 低温硬化や短時間硬化によりエネルギーと時間の節約が可能

用途

- 自動又はマニュアルドル塗布
- セラミックコンデンサーのシーリング
- PCB モジュール部品のシーリング
- PC キーパッド用接着剤

代表特性

出荷規格ではありません。

試験項目	単位	測定値
粘度 (Part A)	cP	37700
	mPa-sec	37700
	Pa-sec	37.7
粘度 (Part B)	cP	41900
	mPa-sec	41900
	Pa-sec	41.9
粘度 (混合後)	cP	89700
	mPa-sec	89700
	Pa-sec	89.7
作業時間 @ 25°C (ポットライフ - 時間)		6 時間

UNRESTRICTED- May be shared with anyone

©TM: ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAY の商標の TORAY の部分は、使用許諾のもとで使用している Toray Industries, Inc. の商標

DOWSIL™ SE 1720 CV Adhesive

代表特性（続き）

試験項目	単位	測定値
加熱硬化時間 @ 120°C		30 分
密度 (硬化後)	g/cm ³	1.06
引張強さ	psi	480
	MPa	3.3
	kg/cm ²	34
伸び	%	375
引張弾性率	psi	130
	MPa	0.9
	kg/cm ²	9
硬さ (JIS タイプ A) ¹		33
引張りせん断接着強さ (アルミ)	psi	240
	MPa	1.6
	N/cm ²	163
絶縁破壊強さ (JIS K 6249)	Volts/mil	650
	kV/mm	26
体積抵抗率 (JIS K 6249)	ohm*cm	3.0E+16
誘電率 @ 1 MHz (JIS K 6249)		2.7
誘電正接 @ 1 MHz (JIS K 6249)		0.002
低分子シロキサン含有量 (D4-D10)	ppm	75
シェルフライフ@ 25°C	カ月	9

1. JIS:日本工業規格

製品概要

ダウ 2 液加熱硬化(付加反応)接着剤の硬化速度は加熱によって、促進されます(表中の硬化条件をご参照ください)ので、最適な硬化条件によってプロセス性能とコストのバランスを取ることが出来ます。厚みが増した場合やボイドが観察された場合は、70°C (158°F) で 30 分の予備加熱又は低ボイド技術の接着剤の使用によってボイドを低減できる場合があります。付加反応タイプのシリコーンは硬化に必要とされる中間原料のみで調合されており、硬化プロセス中に副生成物を発生しません。硬化反応が材料中で均一に進行するために、深部硬化や密閉系での硬化も可能です。これらの接着剤は一般的に使用可能時間が長いので製造時の自由度を最大限に生かすことができ、廃棄物を削減することができます。

ダウのシリコーン接着剤は初期の物理特性、電気特性を幅広い作業条件で維持し、PCB システムアセンブリの信頼性と耐用年数を向上させます。この接着剤の安定した化学的性質と多様な工程オプションは、部品の安全性と信頼性の向上、トータルコストの削減、デバイスやモジュールの限界性能の向上のために必要となる様々なニーズに対応します。

UNRESTRICTED- May be shared with anyone

©TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAY の商標の TORAY の部分は、使用許諾のもとで使用している Toray Industries, Inc. の商標

DOWSIL™ SE 1720 CV Adhesive

© 2019 The Dow Chemical Company. All rights reserved.

混合と脱泡

ダウ 1:1 混合接着剤は 2 液でご提供し、ロットマッチングは必要ありません。重量比又は容積比の 1:1 混合なので計量プロセスが簡単です。充填剤の均一な分散を確実にするために、A 液と B 液を 1:1 混合する前に、A 液と B 液をそれぞれ十分に攪拌しておく必要があります。完全に混合されれば、A 液と B 液の液状混合物は、外観が均一となります。淡い色の線状物やマーブル模様は混合が不十分であることを示し、不完全硬化につながります。急速硬化の接着剤に対しては、自動混合塗布装置をお使いください。エアーの抱き込みに敏感な用途の場合は、94.8 kPa 以上の脱泡装置が必要です。

接着

一般的に、硬化温度を上げる、または硬化時間を長くすると接着強さが向上します。ダウ接着剤は多くの活性金属、セラミックス、ガラス及びある種の積層板、樹脂、プラスチックに、プライマーなしで接着するように特別に設計されています。不活性金属やテフロン、ポリエチレン、ポリプロピレンなどの不活性プラスチックには良好な接着を得ることができません。化学エッチングやプラズマ処理のような特別の表面処理によって表面を活性にし、これらの基材への接着を改善することができる場合もあります。接着が難しい基材の化学活性を向上させるためにダウプライマーを用いることができます。移動性の可塑剤は離型剤になることがあります、可塑剤を多く含むプラスチックやゴム基材では良好な接着が得られない場合があります。すべての基材について、量産試作の前に小スケールでの評価をお勧めします。

適合性

ある種の材料、化学物質、架橋剤、可塑剤は付加硬化タイプ接着剤の硬化阻害を引起すことがあります。代表的な硬化阻害物質は：有機スズ、その他の有機金属化合物、有機スズ触媒を含むシリコーンゴム、硫黄、ポリスルフィド、ポリスルホン、その他硫黄含有材料、不飽和炭化水素可塑剤、はんだフラックス残渣、などです。基材や材料が硬化阻害を引起す可能性のある場合は、意図する用途での小スケールの適合性確認試験をお勧めします。問題の基材と硬化物の間の境界面に液体や未硬化の物質がある場合は、不適合性と硬化阻害を示しています。

基材表面洗浄

すべての表面を完全に清浄にし、ダウ OS フルイド、ナフサ、ミネラルスピリット、メチルエチルケトン(MEK)などの溶剤で油汚れを取り除いてください。アセトンやイソプロピルアルコール(IPA)のような溶剤は油汚れが落ちにくく、表面に残った油は接着阻害の原因となることがあります。可能であれば表面の軽い研磨をお勧めします。効果的な洗浄にもなりますし、接着面積の増加にもつながります。洗浄技術の効果は様々ですので、お客様の対象とする用途において最良の方法をご選定願います。

UNRESTRICTED- May be shared with anyone

©TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAY の商標の TORAY の部分は、使用許諾のもとで使用している Toray Industries, Inc. の商標

DOWSIL™ SE 1720 CV Adhesive

© 2019 The Dow Chemical Company. All rights reserved.

基材試験

基材には多くの種類があり、基材表面状態も千差万別ですので、接着状態や接着強度について一般的な説明を記述することができません。特定の基材に対する最高接着強度を得るために、引張せん断接着試験や同様の試験で、接着剤の 100% 凝集破壊が必要です。この試験は接着剤と対象基材の適合性確認になります。更に、この試験は最短の硬化時間の測定や、離型剤、オイル、グリース、酸化被膜などの表面汚染の存在を検出するのに用いることができます。

使用温度範囲

大部分の用途でシリコーン接着剤は長期間にわたり、温度範囲-45°C から 200°C (-49°F から 392°F)で使用することができます。しかし、使用範囲の最低温度と最高温度では、材料の挙動や特別の用途での性能が複雑になり、追加の考察が必要となります。低温での性能、-55°C (-67°F)のような条件での熱サイクルでの耐用は可能ですが、貴社の部品やアセンブリーで性能の検証をお願いします。性能に影響すると考えられる要素は形状、部品の応力感度、冷却速度と保持時間、それに温度履歴です。最高温度では、硬化シリコーンエラストマーの耐久性が、時間と温度に依存します。予想されるように、温度が高い程、材料の使用可能時間は短くなります。

溶剤暴露

使用中に液体(蒸気)溶剤、燃料油などに暴露される場合、本説明書に記載のシリコーン接着剤はしぶきがかったり、間欠的な溶剤暴露のみに耐えるように意図されています。継続的な溶剤暴露や燃料油暴露には適しません。対象となる暴露条件での性能確認をお願いします。

使用上の注意

使用に際し必要な安全情報は本データシートには記載されていません。ご使用の前に、安全データシート(SDS)及び、パッケージ又はパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかって下さい。安全データシート(SDS)はウェブサイト、ja.consumer.dow.com にアクセスしてお求めいただけます。さらに、代理店または担当営業にご依頼いただいても 結構です。

保証期間

品質保証期間は、製品ラベルに「使用期限日」として表示しております。

包装単位

ダウ接着剤／シーラントは通常、100 ml チューブ、330 ml カートリッジ、1 kg 缶、18 kg 缶 名目容器、正味重量でご提供させていただきます。特定の製品については、一部の梱包単位がない場合がありますが、パッケージサイズによっては袋状のパッケージ、チューブなど追加の梱包単位も準備しております。

医療・医薬品用途への制限

本製品は、(ヘルスケア用途製品を除き、) 一般工業用途向けに開発・製造されたものです。弊社製品は、医療または医薬用途向けに適合するものとして、試験されておりません。また、そのように表明されるものでもありません。

UNRESTRICTED- May be shared with anyone

©TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAY の商標の TORAY の部分は、使用許諾のもとで使用している Toray Industries, Inc. の商標

DOWSIL™ SE 1720 CV Adhesive

© 2019 The Dow Chemical Company. All rights reserved.

健康および環境に関する情報

弊社は、お客様の製品安全の必要性をサポートするために、広範囲におよぶプロダクト・スチュワードシップの組織やチームおよび各地域にて対応可能な製品安全並びに法令遵守のスペシャリストを有しております。

さらなる詳細な情報については、弊社のウェブサイト ja.consumer.dow.com、または弊社の担当営業までご連絡下さい。

図1

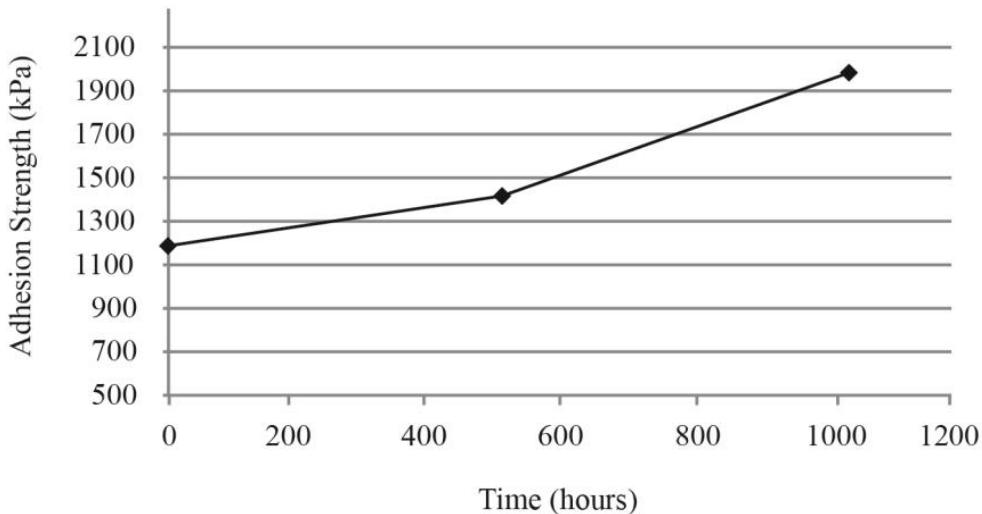
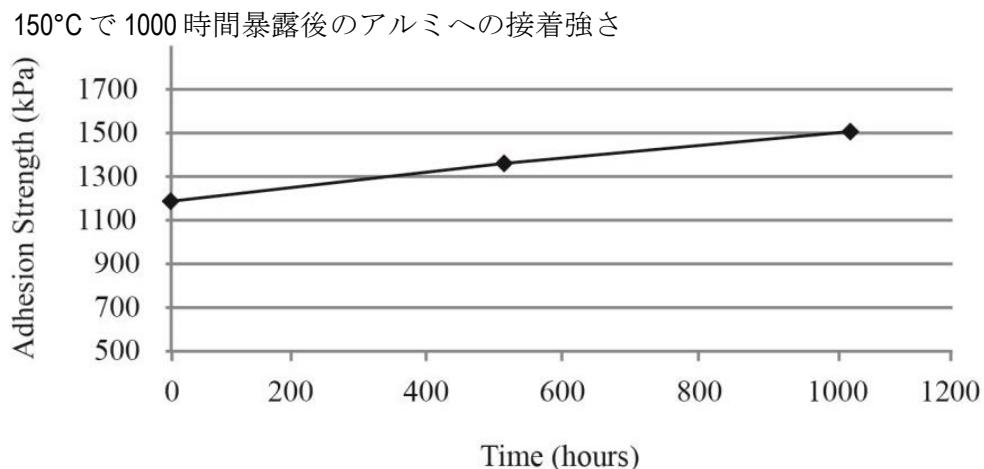


図2



85 C / 85% RH で 1000 時間暴露後のアルミへの接着強さ

UNRESTRICTED- May be shared with anyone

©TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社の商標

DOW TORAY の商標の TORAY の部分は、使用許諾のもとで使用している Toray Industries, Inc. の商標

DOWSIL™ SE 1720 CV Adhesive

© 2019 The Dow Chemical Company. All rights reserved.

How Can We Help You Today?

弊社は、シリコーン材料・アプリケーション・プロセスに関する豊富な知識をもとに、お客様が求める性能、デザインや製造上の課題解決に貢献しています。

弊社の製品と特性については ja.consumer.dow.com をご覧ください。

ダウは、世界中にカスタマーサービス、研究開発拠点、アプリケーションサポートチーム、営業所と工場を有し、あらゆる国や地域のお客様のニーズに応えています。

ja.consumer.dow.com

限定保証について一よくお読みください

ここに掲載する情報(以下「本情報」という)は、弊社が誠意をもって提供するものであり、正確であると確信するものです。但し、弊社製品についての使用条件や使用方法は、弊社のコントロールの及ばぬところでございますので、本情報を弊社製品が、お客様の意図する最終用途において、安全で、有効で、十分に満足するものであることを保証するためのお客様における試験の代わりとしては、使用しないで下さい。ここで紹介する使用方法、用途などは、いかなる特許をも侵害していないことを保証するものではありません。

弊社は、弊社製品が出荷の時点で有効な販売規格に適合していることを保証致します。この保証に違反した場合、お客様の救済方法は、当該製品の購入代金の返金または当該製品の交換により対応いたします。

適用法により許容される最大限の範囲において、弊社は特に、製品の特定目的への適合性または商品適格性について、明示または默示の保証をするものではありません。

また、弊社は、いかなる付随的または派生的な損害について何ら責任を負いません。



A DOW and TORAY Joint Venture